

まとめで「小鳥」とよばないで

森や林にも私たちのような小さな野鳥がたくさん生活しています。同じような小鳥に見えても、いろんな種類の鳥がいるんですよ。個性豊かな鳥たちに会いに、近所の公園や森に出かけてみませんか。



【カラ類の混群】

シジュウカラ、ヤマガラ、ヒガラ、エナガなどのカラ類は、みんなで集まって森の中で暮らしています。好きな食べ物も暮らし方もみんな違いますが、とても仲良しです。群れの名前は、「カラ類の混群」と呼ばれています。息をひそめてじっとしていると、たくさんの小鳥たちがすぐ近くまで来て、じっくり観察できます。

ジョウビタキ

毎年やってくる律儀な子

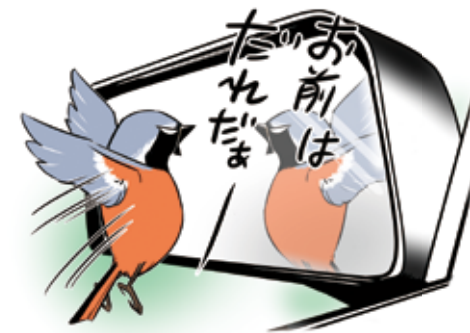
彼らは大陸で子育てし、冬になると日本海を越えて日本にやって来ます。毎年同じ鳥が同じ場所に縄張りを作るので、馴染みのある人も多いかも？

彼らは縄張り意識が強く、いつも隣どろしで小競り合い。時々カーブミラーや車のサイドミラーに写る自分の姿をライバルだと勘違いして、突っつきに来る子もいるよ。



火打石を打つような「カッカッカッ…」という鳴き声と、「ヒッヒッ…」という鳴き声から、「火を焚く」の意でヒタキと名前がつけました。尾羽をプルプルと小刻みに震わせるのが特徴です。

●見られる場所…民家の庭先、豊公園など



コゲラ

小さい木こりさん



体長17cmほどの小さなキツツキ。「ギ〜イ」という独特の声で存在がわかります。カラ類の混群に混じっていることが多く、小柄な体で木の幹を縦にスルスルと登る姿がとてもかわいいです。

●見られる場所…森のある公園、虎御前山など

コゲラは日本で一番小さなキツツキの仲間です。クリクリお目めのかわいい木こりです。木の幹を強く叩いて「ドロドロロロロ」という音を立てます。叩く速さは1秒間に25回とも！大きな爪のある足で木の幹をがっちりつかまえて何度も木をつつく姿を見ると、そんなに速く頭を振って、どうして大丈夫なんだろうっていつも不思議…。



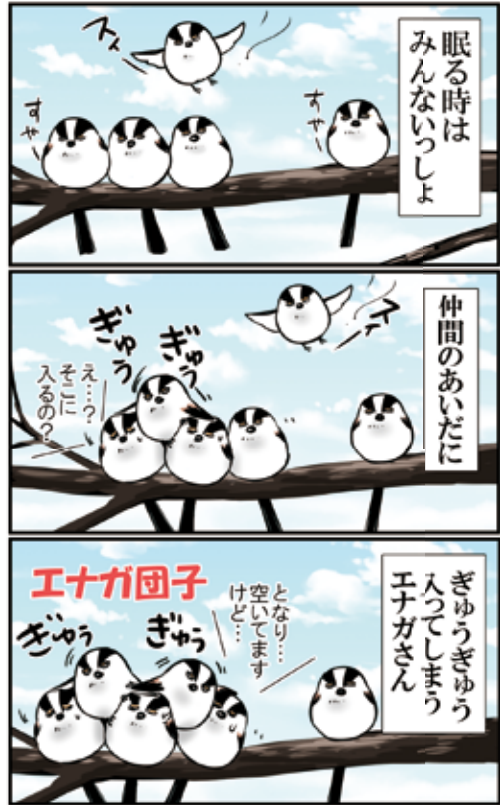
エナガ

食べちゃいたい可愛や



繁殖期以外は10羽程度の集団で生活します。ジュルル…という独特の声で鳴き合って、森の中を移動しながらクモなどの小さい虫を探して生活しています。非常に小さく、枝にぶら下がったり器用に動き回ります。

●見られる場所…森のある公園、南浜の緑地など



私たちエナガは体長14cm、体重7g（1円玉7枚分！）ほどのとても小さな小鳥。しかも体長の半分が長い尾羽なので、実際はもっと小さく見えます。
寝るときは1本の枝におしくまんじゅうしながら集まって寝ます。ぎゅっぎゅっにつつまれて毛玉みたいにまるまった姿は「かわいい」とみんな言ってくれます。



野鳥だけじゃない
自然のことならなんでも！

野鳥のことはもちろん、昆虫・魚・植物など、自然のことなら何でも分かるのが湖北野鳥センター。望遠鏡で鳥を観察しながら説明を聞けるので、初めての人でも鳥のすべてが分かります。もちろん、鳥の名前だけでなく、望遠鏡の使い方から親切に教えてくれます。
リニューアルして、展示も充実。子どもも大人も、さらに楽しく学べる施設に生まれ変わりました。

年末年始の特別開館

年末やお正月も、鳥たちと一緒に過ごしませんか。

【開館日】
12月29日(木)・30日(金)
1月2日(月)・3日(火)



▲広々としたスペースで、観察しやすくなりました。



▲水槽展示では、魚や水辺の生物が観察できます。



▲大型モニターや掲示板にも野鳥の情報がいっぱい。

湖北野鳥センター

【開館時間】 9時～16時30分
【休館日】 毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)
※特別開館時を除く
【入館料】 高校生以上 200円
小・中学生 100円
(市内の小中学生は無料)
【住所】 湖北町今西地先
【電話】 79-1289

湖北野鳥センター